

## テス・エンジニアリング株式会社と環境負荷低減を目指す サステナビリティパートナー契約を締結

鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）を運営するホンダモビリティランド株式会社（本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：斎藤 毅、以下「ホンダモビリティランド」）と、テスホールディングス株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：山本 一樹）の連結子会社であるテス・エンジニアリング株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：高崎 敏宏、以下「テス・エンジニアリング」）は、「鈴鹿サーキットサステナビリティパートナー契約」を締結しました。

本パートナーシップは、ホンダモビリティランドとテス・エンジニアリングが連携を図り、鈴鹿サーキットの環境負荷低減に関する取り組みや社会課題の解決に繋がる実証フィールドとして具体的な取り組みを実施していくものです。

ホンダモビリティランドでは、環境ビジョンとして「中核事業であるモータースポーツイベント開催にかかわる温室効果ガスの排出削減に取り組み、2030年にカーボンニュートラルを目指す」を掲げており、主要なモータースポーツイベントにおいては再生エネ由来の電力の使用等、カーボンニュートラルへの取り組みを積極的に推進しています。また、鈴鹿サーキットは持続可能な未来づくりに向けた環境マネジメントシステムが認められ、国際自動車連盟（FIA）環境認証プログラムの最高位となる3つ星を獲得しました。

テス・エンジニアリングにおいては、社名の由来である「Total Energy Saving & Solution」の経営理念のもと「再生可能エネルギーの主力電源化」、「省エネルギーの徹底」及び「エネルギーのスマート化」の3つの事業領域に注力しながら、総合的なエネルギーソリューションの展開を行っております。

このように環境への取り組みを積極的に進めているホンダモビリティランド及びテス・エンジニアリングが本パートナーシップのもと連携を図り、鈴鹿サーキットの更なる環境負荷低減を推進していくことで脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



SUZUKA CIRCUIT



テス・エンジニアリング



調印式の様子

ホンダモビリティランド株式会社 常務取締役 鈴鹿サーキット総支配人 小田栄次郎(左)、テス・エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 高崎 敏宏(右)

### テス・エンジニアリング株式会社について

本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6 - 1 - 1 新大阪プライムタワー  
代表者 代表取締役社長 高崎 敏宏  
設立 1979年 5月  
資本金 1 億円  
事業内容 省エネ・再生エネ設備のEPC、オペレーション&メンテナンス（O&M）、再生可能エネルギー発電所の所有・運営・売電、電気の小売供給（新電力）、エネルギー管理サービス、24時間遠隔監視サービス、ERABサービス、燃料供給サービス（LNG、バイオマス燃料等）他

公式ウェブサイト <https://www.tess-eng.co.jp/>